

公益財団法人 うつのみや文化創造財団 中期経営計画

I 組織の概要

平成27年4月1日現在

1. 団体の基礎情報										
所在地	宇都宮市明保野町7番66号				設立年月	平成21年4月				
市所管課	教育委員会事務局 文化課				代表者	理事長 臼井 佳子				
ホームページアドレス	(財団)http://uacf.jp (文化会館)http://www.bunkakaikan.com (美術館)http://u-moa.jp									
基本財産(資本金)	110,000千円		主な出資者		出資額		出資割合			
市出資額	110,000千円		-		-		-			
市出資割合	100.0%		-		-		-			
設立目的等	幅広い文化芸術事業を展開するとともに、市民の多様な文化活動を育成・支援することにより、魅力ある市民文化の創造を図り、地域文化の振興に寄与する。									
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市文化会館、宇都宮美術館の文化芸術振興事業 宇都宮市文化会館、宇都宮美術館の管理運営事業 その目的を達成するために必要な事業(プレイガイド事業など) 									
	公益目的事業比率							79.5 %		
2. 団体の組織・人員情報										
役職員数	役員				職員					
	常勤	理事	1	1	正規職員等			嘱託・臨時職員等		
		監事	0	0	正規職員	30	0	嘱託職員	14	0
	非常勤	理事	10	0	再雇用職員(フルタイム)	4	0	再雇用職員(短時間)	0	0
		監事	2	0	派遣等職員	0	0	臨時職員等(アルバイト等も含む)	0	0
計	13	1	市OB	0	0	0	0	0	0	
計	13	1	計	35	1	計	16	1		
役員	平均年齢(歳)	63.0	役員	平均年収(千円)	-	情報公開制度の有無			0	
職員	平均年齢(歳)	48.0	職員	平均年収(千円)	6,157	個人情報保護体制の有無			0	
3. 財務状況										
貸借対照表から	項目	金額(千円)			備考					
		24年度決算	25年度決算	26年度決算						
	総資産	931,188	958,856		うち損失補償等を行っている額(千円)					
	負債	409,430	388,766							
	純資産	521,757	570,090							
(うち利益剰余金)	412,112	460,546		0						
※一般財団等は、純資産を正味財産合計、利益剰余金を一般正味財産として読み替えています。										
損益計算書から	項目	金額(千円)			備考					
		24年度決算	25年度決算	26年度決算						
	総収入	1,005,289	973,471							
	(うち市補助金等)	72,756	46,074							
	(うち市委託料等)	736,199	748,891							
経常損益	65,387	50,188								
当期損益	63,220	48,433		0						
※一般財団等は、損益計算書を正味財産増減計算書、経常損益を当期経常増減額、当期損益を当期一般正味財産増減額として読み替えています。										

4. 経営改革に関する過去3年間（平成24年度～26年度）の主な取組

宇都宮市文化会館・宇都宮美術館の経営改革に関する取組み

- ①平成24年度公益財団法人移行登記を完了
認定基準に準拠した適正な財団運営及び会計処理並びに報告業務の対応
- ②事業評価システムの導入と運用による事業の見直し
- ③公益財団法人移行の趣旨に沿った事業計画及び実施
自主事業の強化・充実
 - ・教育普及事業
ステージ・ラボ「ネクスト・ステージ」（H25年度文化会館）
宇都宮ユース邦楽合奏団チャレンジワークショップ（H25文化会館）
公共ホール連携事業「6週間のダンスレッスン」（H26文化会館）
 - ・地域文化の創造事業 ファインフィールドフェスティバル（H24, 25, 26文化会館）
 - ・宇都宮市学校所蔵品再発見プロジェクトRe-Collections II（H24年度美術館）
 - ・館外プロジェクト「おじさんの顔が空に浮かぶ日」（H25, 26年度美術館）
- ④市事業（市民芸術祭）の移管（H25年度文化会館）
- ⑤文化会館・美術館2館連携事業
スケールメリットを活かした新たな連携事業の展開
「舘野泉ピアノリサイタル」－「フィンランドのくらしとデザイン」（H24年度）
「クリムトゆかりの街・ウィーン」－「クリムト 黄金の騎士をめぐる物語」（H25年度）
「パリ、煌めきのハーモニー」－「佐伯祐三が愛したパリ」（H26年度）
- ⑥特定外収入の確保
H24年度17,991千円 H25年度12,871千円 H26年度12,066千円
- ⑦外部助成金（文化庁・地域創造等）を活用した事業の実施
 - ・文化会館
東京フィルハーモニー交響楽団演奏会（H24年度）文化庁4,500千円
東京フィルハーモニー交響楽団演奏会（H25年度）文化庁4,200千円
おんかつ第1・2回中学校おでかけコンサート（H24, 25年度）地域創造700千円
公共ホール音楽活性化支援事業（H24, 25年度）
公共ホール連携事業「6週間のダンスレッスン」（H26年度）宝くじ 出演料・製作費免除
公共ホール連携事業「黄昏にロマンス」（H26年度）地域創造1,000千円
 - ・美術館
カミーユ・ピサロと印象派展（H24年度）国家補償制度による事故補償金のため実際の支給は0円
マックス・エルンスト展（H24年度）文化庁2,000千円
彫刻のちから展（H24年度）芸術文化振興基金290千円
Re-Collections II（H24年度）文化庁1,007千円

II 基本方針

1. 改革の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> 公益法人としての役割の発揮 事業の充実・強化に向けた保有財産の適正活用 業務量等を踏まえた組織体制の適正化 	
2. 主要課題	
<p>① 公益目的事業の更なる充実 業務の効果的・効率的な執行や法令等にもとづく適正な法人運営の徹底など、内部統制を有効に機能させながら、教育普及事業や地域連携事業などの公益目的事業を更に充実させ、文化芸術の更なる振興・発展に寄与することが必要</p> <p>② 保有財産の適正活用 基金等の保有財産については、引き続き、透明性の確保や用途の明確化に努め、計画的な活用を図ることが必要</p> <p>③ 組織体制の適正化 文化会館の改修に伴う業務量の変化などを踏まえ、知識や技術の継承に配慮しながら、組織体制の適正化を図ることが必要</p>	

III 重点取組

1. 事業の充実・重点化									
No	取組項目	現状	目標	スケジュール					
				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
1	公益目的事業比率の維持	26年度末 82.2%	31年度末 50%以上	実施	→				
2	自主・受託事業の充実	26年度 91事業を実施	31年度 93事業を実施	81事業	58事業	91事業	92事業	93事業	
3	効果的・効率的な施設の管理	26年度利用者数・観覧者数57.5万人	31年度利用者数・観覧者数合計58万人	47万人	11万人	61万人	58万人	→	
4	文化芸術発信事業	準備・実施	31年度2事業を実施・継続	2事業	→				
5	周年・リニューアルオープン記念等の事業の実施	27年度～28年度開催準備	28年度実施 29年度実施 調査・研究	準備	実施	実施 調査・研究	調査・研究	→	
6	教育普及事業等の充実	26年度26事業を実施	31年度31事業を実施・継続	30事業	31事業	→			
2. 地域における公益的活動の推進									
No	取組項目	現状	目標	スケジュール					
				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
7	地域連携事業の実施	26年度8事業を実施	31年度9事業を実施	11事業	16事業	10事業	9事業	→	
8	文化会館、美術館以外の館外での事業の実施	年間5事業実施	31年度8事業を実施	7事業	19事業	7事業	→	8事業	
3. 健全経営の維持と経営の更なる改善									
No	取組項目	現状	目標	スケジュール					
				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
9 (共)	市からの補助金・負担金の適正化	26年度決算 75,111千円	継続的な見直し	実施	→				
10 (共)	市からの委託料（指定管理料）の適正化	26年度決算 606,886千円	継続的な見直し	実施	→				
11	保有財産の適正化	適正な公益法人運営や内部統制強化に活用	継続的な見直し	実施	→				
12	特定外収入の増収（国庫補助の獲得）	26年度決算 9,456千円	継続的な実施	9,000千	6,000千	13,000千	→		

4. 組織・人員体制の強化									
No	取組項目	現状	目標	スケジュール					
				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
13 (共)	常勤役職員数の適正化	26年4月1日現在 31人体制	継続的な見直し	実施	→				
14	職員の資質の向上と育成	職員研修の実施 26年度取得資格18種	研修内容の充実 31年度取得資格18種	実施	→				18資格
5. その他									
No	取組項目	現状	目標	スケジュール					
				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
15	施設の適切な維持管理	小規模な故障・破損 が発生	早期予算化による実 施	実施	→				

Ⅳ 取組内容

1. 事業の充実・重点化

No	1				
改革項目	公益目的事業比率の維持				
現状	26年度末 82.2%	目標	31年度末 50%以上		
取組	取組内容			取組スケジュール	
			27年度	28年度	29年度 30年度 31年度
公益目的事業比率の維持	公益財務3基準のひとつである公益目的事業比率（費用ベース）を遵守し維持する。（比率が100分の50以上になると見込まれること）			実施	→

No	2				
改革項目	自主・受託事業の充実				
現状	26年度 91事業を実施	目標	31年度 93事業を実施		
取組	取組内容			取組スケジュール	
			27年度	28年度	29年度 30年度 31年度
文化会館自主・受託事業の企画・実施の充実	文化芸術活動の育成・支援事業、舞台芸術鑑賞事業をバランスよく企画・実施をすることにより、多くの市民に舞台芸術に接してもらうように努める。			54事業	30事業 63事業 64事業 65事業
美術館自主・受託事業の企画・実施の充実	絵画・彫刻等の多様な美術作品の鑑賞の機会や学習・体験の場を提供すると共に、その文化価値を後世に継承できるように努める。			28事業	→
大型企画展の開催	特定費用準備基金等を活用し、27年度にパウル・クレー展を開催。財団独自の企画で公益性の高い大型企画展の調査・研究を行う。			実施	調査・研究 →

No	3				
改革項目	効果的・効率的な施設の管理				
現状	26年度利用者数・観覧者数57.5万人	目標	31年度利用者数・観覧者数合計58万人		
取組	取組内容			取組スケジュール	
			27年度	28年度	29年度 30年度 31年度
文化会館利用者数の維持	利用者数の減少傾向が見られる中、ホームページ等や受付予約システムを活用した効果的な施設空き情報提供と予約受付の効率化を推進する。			35万人	休館 50万人 47万人 →
美術館観覧者数の維持	展覧会スケジュールや市民ニーズを調査研究し、タイムリーで質の高い企画展とコレクションを企画開催し観覧者数の維持を図る。			12万人	11万人 →

No	4				
改革項目	文化芸術発信事業				
現状	準備・実施	目標	31年度2事業を実施・継続		
取組	取組内容			取組スケジュール	
			27年度	28年度	29年度 30年度 31年度
文化芸術発信事業の実施（新規）	財団で育て上げた「邦楽ソリスデン」「宇都宮ユース邦楽合奏団」を中心とした事業を企画。宇都宮からの文化発信事業を展開。併せて邦楽の普及啓発を図る。（SANKYOKU2015）			2事業	→
小冊子の発行（新規）	新たな顧客獲得を図り財団事業と併せて本市の文化芸術活動及び団体等を紹介し、市民の文化芸術への関心を高めていく。また公益財団法人への寄付者に対し税制上の優遇措置が得られることを広くPRし、企業・個人からの寄付金の確保に努める。			実施	→
新たな媒体による情報発信の実施	情報発信を効果的・効率的に実施するため、ツイッターやフェイスブック等の最新の情報媒体を常に研究し導入を推進する。			実施	→

No	5					
改革項目	周年・リニューアルオープン記念等の事業の実施					
現状	27年度～28年度開催準備	目標	28年度実施 29年度実施 調査・研究			
取組	取組内容	取組スケジュール				
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
リニューアルオープン事業の実施（新規）	特定費用準備基金等を活用し、市民の多様な文化活動の育成・支援を念頭に「魅力ある市民文化の創造」「地域文化の振興」を基本に、宇都宮市の魅力を市内外へ発信できるような記念事業を実施する。	準備	→	実施		
美術館開館周年特別企画展	宇都宮美術館開館20周年記念特別企画展として、「大谷展」（仮題）、「ベルギー・フランドル 幻想の系譜」展（仮題）を準備、実施する。また、25周年記念特別企画展の調査・研究を行う。	準備	実施	実施 調査・研究	調査・研究	調査・研究

No	6					
改革項目	教育普及事業等の充実					
現状	26年度26事業を実施	目標	31年度31事業を実施・継続			
取組	取組内容	取組スケジュール				
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
子どもの芸術活動・伝統文化の継承への支援事業の充実	日本古来の伝統文化・古典芸能などに触れることで、文化芸術への関心や理解を深め、豊かな人間性・創造性などを育むことを目的に実施。（ふれあい文化教室など）	11事業	→			
地域文化団体等との協働事業による文化振興事業の充実	舞台芸術の観客層を広げ、育てるために、各ジャンルに精通した地元の文化団体等と協働でワークショップ・鑑賞講座等を実施することにより、学習する機会の充実を図る。（各種鑑賞講座）	10事業	11事業	→		
舞台芸術と美術のコラボレーション事業の充実	音楽・伝統芸能と美術の歴史的背景等、さまざまな角度から捉えることにより、創造性に富んだ事業を展開していく。	2事業	→			
美術館における地域・学校との連携事業	財団学芸員による講座や出前事業、作品を解説するギャラリートーク、森のアトリエや自然観察会などを継続的に実施していく。	7事業	→			

2. 地域における公益的活動の推進

No	7					
改革項目	地域連携事業の実施					
現状	26年度8事業を実施	目標	31年度9事業を実施			
取組	取組内容	取組スケジュール				
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
会館及び周辺施設、市施設を活用した文化振興事業の充実	会館及び周辺施設を活用し、地域文化の振興に寄与する事業を展開する。さらに学校、企業、地元文化団体との連携を深め、地域活性化も併せて図る。（ファインフィールドフェスティバルなど）	9事業	15事業	8事業	→	
美術館友の会、地元自治会等と連携した事業の継続的な実施	文化の森を活用し、地域等と連携した事業である「子どもフェスタ」を継続的に実施する。	1事業	→			
地域の活性化事業の実施	地域の活性化を図る「館外プロジェクト」について、事業内容を研究・検討しながら実施していく。	1事業	準備	1事業	調査・研究	→

No	8					
改革項目	文化会館、美術館以外の館外での事業の実施					
現状	年間5事業実施	目標	31年度8事業を実施			
取組	取組内容	取組スケジュール				
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市内各施設との連携事業（新規）	平成27年度からの大規模改修工事に伴い文化会館が休館することから、特性等を活かした文化振興事業を実施し、継続的な事業展開を図る。	6事業	19事業	6事業	7事業	8事業
市街活性化を目的とした事業の実施	27年度「宮染めを拓く」を実施。以降、市民を巻き込み、市街を活性化するアート及びデザインのプロジェクツの調査・研究を行い29年度に次回事業実施予定。	1事業	準備	1事業	準備	→

3. 健全経営の維持と経営の更なる改善

No	9					
改革項目	市からの補助金・負担金の適正化					
現状	26年度決算 75,111千円	目標	継続的な見直し			
取組	取組内容	取組スケジュール				
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市からの補助金・負担金の適正化の推進	補助金の金額の妥当性等について、収入状況や基金等の保有額などを踏まえて検証し、継続的な見直しを進めていく。	実施	→	→	→	→

No	10					
改革項目	市からの委託料（指定管理料）の適正化					
現状	26年度決算 606,886千円	目標	継続的な見直し			
取組	取組内容	取組スケジュール				
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
給与水準の適正化推進	市の給与水準等を勘案し市民の理解が得られるよう、適正な給与、諸手当等について継続的な見直しを図る。	実施	→	→	→	→
委託業務の内容、経費の見直し	委託業務等に係る経費の適正化及び公益財務3基準（収支相償）の遵守のため、継続的に委託契約の内容等の点検を実施する。	実施	→	→	→	→

No	11					
改革項目	保有財産の適正化					
現状	適正な公益法人運営や内部統制強化に活用	目標	継続的な見直し			
取組	取組内容	取組スケジュール				
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
計画的な支出計画の策定・実施	2館の文化振興基金による事業計画及び支出計画の策定と継続的な見直しの実施。2館の特定費用準備資金による事業計画及び積立計画の策定と継続的な見直しの実施。	適正化	→	→	→	→

No	12					
改革項目	特定外収入の増収（国庫補助の獲得）					
現状	26年度決算 9,456千円	目標	継続的な実施			
取組	取組内容	取組スケジュール				
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
特定外収入の増収推進と新規開拓	プレイガイド、自動販売機などの特定外収入の増収の推進と新たな収入事業の開拓に努める。	6,000千円	3,000千円	10,000千円	→	→
国、県、企業などの補助金や交付金の積極的な獲得と活用	財団の実施事業に適合する外部の補助金や交付金等の情報収集を行い、積極的な獲得と活用を図る。	3,000千円	→	→	→	→

4. 組織・人員体制の強化

No	13				
改革項目	常勤役職員数の適正化				
現状	26年4月1日現在 31人体制	目標	継続的な見直し		
取組	取組内容	取組スケジュール			
		27年度	28年度	29年度	30年度 31年度
組織体制等の適正化	業務量の変化などを踏まえ、知識や技術の継承に配慮しながら組織体制等の適正化を図る	実施	→		

No	14				
改革項目	職員の資質の向上と育成				
現状	職員研修の実施 26年度取得資格18種	目標	研修内容の充実 31年度取得資格18種		
取組	取組内容	取組スケジュール			
		27年度	28年度	29年度	30年度 31年度
新規内容の研修計画	「報告・伝達研修」など全職員を対象とした新規の研修内容を研究し実施する。また、グループ業務に特化した勉強会等を各グループにおいて適宜実施していく（法規、経理、システム操作等）。	実施	→		
所管課による研修	所管課による、市の現状に即した内容で職位に応じた研修を実施する。	実施	→		
能力開発、資格の取得	5年間にプロパー10名が定年退職となるため、財団職員ならではの接遇・サービス（サービス介護士資格等）や技術・知識（照明・音響技術者等）の能力・技術の維持を推進する。	18資格	→		18資格

5. その他

No	15				
改革項目	施設の適切な維持管理				
現状	小規模な故障・破損が発生	目標	早期予算化による実施		
取組	取組内容	取組スケジュール			
		27年度	28年度	29年度	30年度 31年度
適切な調査・記録と修繕	大規模かつ特殊な設備を備えた2施設について、適切な予防保全をおこなうため所管課に対し修繕提案を行う。	実施	→		